

「市独自の暮らしの支援は行われず」 - 2021年度決算認定に反対

学校給食調理の民間委託は20校に及ぶ中、子どもの貧困はますます広がり、改めて給食の果たす

給食費の
無償化求め

源は十分あったのに、これと言った市独自の暮らしの支援は行われず、市民の暮らしは益々大変になっており、私たちは昨年度決算に反対しました。

昨年度の三鷹市は21億円余りの黒字となりました。積立金は前年度に比べて8億円も増え、総額151億円の過去最高額となりました。財



2021年度
決算代表質疑
紫野あすか議員

役割が重要になっていきます。義務教育は無償で行うという日本国憲法の観点からも、給食費の無償化について検討を始めるべきだと決算委員

日本共産党の3つの意見書

日本共産党は、①18歳までの子どもの医療費完全無償化を求める意見書、②公契約法を求める意見書、③旧統一協会の問題についての徹底究明・全容解明を求める意見書の3つの意見書を提案しました。

子ども医療費は、この10月1日から所得制限なしの高校生までの医療費助成が都の制度に先駆けて償還払いで実施されます。三鷹では、窓口の200円のみとなります。所得制限の撤廃は党議員団の要求で今回、中学生の所得制限も同時に撤廃されました。意見書は都の助成期限以降も続けられるよう、都に助成の継続拡充を求めたもの。自公、保守無党派も含めて全会一致で可決されました。

公契約法を求める意見書は、自民系の自由民主クラブと令和山桜会、公明、つなぐの反対多数で否決。

旧統一協会の徹底究明・全容解明を求める意見書は、自由民主クラブと令和山桜会、公明、つなぐ、都ファが反対して否決。民主の提案した「旧統一協会等による被害の防止・救済を求める意見書」も自由民主クラブと令和山桜会、公明が反対し、可否同数となり土屋議長の裁決で否決となりました。

三鷹市で無償化を行う場合は7億7千万円掛かるとのことですが、自治体のやる気次第で十分可能です。市長はこれまでに「学校給食法11条

の規定により保護者負担とする」という答弁ばかりを呪文のように繰り返してき

ました。国会では国も文科省も「無償化については設置者である自治体で検討し負担軽減すべき」とはつきり答弁をしているが、これにつ

会でも求めました。
やりたい気持ちはある「初めて答弁

の負担と「やりたい気持ちはある」と初めて答弁しました。小さいけれど重要な一歩です。今後とも無償化を求めて頑張ります。



**コロナ対策・保健所設置、
スピーキングテストについて**
前田 まい議員

保健所議論、先送りは許されない

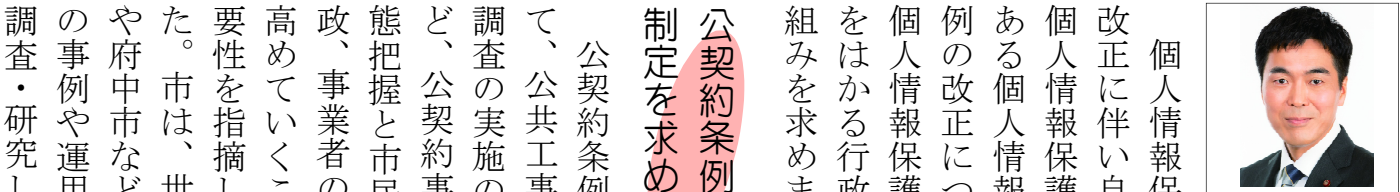
スピーキングテストの問題点指摘

①コロナ、保健所。市長はこれまで

中止を求める大きな運動が展開中ですが、市教委、学校の問題意識が遅れており、保護者や受験生への十分な説明がなされないまま。進路説明会でもしっかりと説明

「保健所の議論はコロナが収束してから」と、増設や機能強化には消極的。しかし、繰り返しされる感染拡大、医療崩壊。議論の先送りは許されません。市長は「現段階では特段の近隣市との協議をふまえた市内への保健所設置や誘致は想定していません」と答弁。身近に保健所がないから、多くの市民が苦しんでいるのに…。

資料の拡大コピーを用意して、制度による順位の「逆転現象」を指摘。結果の返却が遅すぎることや、ベネッセへの個人情報提供など、問題ありすぎです。都議会では中止を求める議連が発足しました。



**個人情報保護、公契約条例、
新中コミセンプールの改修について**
栗原けんじ議員

個人情報保護法の改正に伴い自治体の個人情報保護の要である個人情報保護条例の改正について、

と答弁。

個人情報保護の徹底をはかる行政の取り組みを求めました。

新中コミセンのプールの早期改修を！

公契約条例の制定を求めて

公契約条例について、公共工事の実態調査の実施の要求など、公契約事業の実態把握と市民、行政、事業者の認識を高めていくことの重要性を指摘しました。市は、世田谷区や府中市などの条例の事例や運用状況を調査・研究している

新川中原コミュニティセンターのプールは、市の公共施設の維持更新を目的として策定中の新都市再生ビジョンに関わり、学校3部制の施策と絡めて検討するとし、統廃合が狙われていることがわかりました。コミセンプールは市民の大切な公共施設であることを指摘し、コミセンプールの廃止ではなく存続、早期の改修で来夏に備えるよう求めました。



若者・学生支援について
要望
大城 美幸議員

八王子市では市内に5年以上定住する方を対象に、奨学金の返済助成を行っています。また西東京市では、経済的に困難に直面している市内在住の大学生等に、学びの機会の継続と生活支援を目的として、市独自で学生等

た。市長は「社宅や空き家を活用したシェアハウスや雇用を含め今後、考えていかなければならない」と答弁。

若者・学生への家賃補助を提案！

若者・学生を支援し、地域の課題解決の担い手に

若者が三鷹市に住み続けられるように、若者・学生への家賃助成、または空き家等を活用し、安く貸し出すなどできないものかと提案しました。

神戸市での大学と連携した取り組みなどを紹介し、三鷹でも若者・学生に地域の課題解決の担い手として活躍してもらい、若者を支援するよう要望しました。